



横浜訓盲学院 だより

第66号 (2026年3月号)

2026年2月27日発行

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地 URL : <http://kunmou.jp/>

代表 TEL:045-641-2626 FAX:045-641-2627 E-mail : jimu@kunmou.jp

普通部 (直通) TEL/FAX:045-662-1710 医療科 (直通) TEL/FAX:045-662-1833



学院長 星 祐子

歴史に学び、明日の活力に

現在、特別支援学校（視覚障がい）を巡っては、在籍幼児児童生徒の減少、重複障がいのある子どもたちの割合の増加等の中で、一人ひとりの豊かな学びをいかに保障していくのか、という課題に直面しています。職業教育の在り方も問われています。

岸博実氏（元京都府立盲学校教諭／日本盲教育史研究会事務局長）の著書「盲教育史の手ざわり『人間の尊厳』を求めて」の中に「長崎の多比良義雄校長の思い」の章があります。後に、長崎に投下された原子爆弾の犠牲となった多比良校長が、「盲聾啞児義務教育制度実施に就て」と題して地元の新聞に投稿（1937年1月5日付）した文面が掲載されています。その文面は、盲・ろう児の就学率が「僅かに百分の三十に過ぎない」と嘆き、「日本が盲聾児九千人の義務教育に伴なふ国費の負担に堪えないのでありませうか！」と問うています。あの時代にあって、校長という立場で、教育へのひたむきな思いを訴える提言を、現代に生きる私たちはどのように受け止めていくのかが問われているように思えます。

いずれの時代にあっても、熱意と信念を持ち、果敢に挑んでいった先人達の取組、それは、本学院においても、1924年の幼稚部（初等科予科）設置、1968年の普通部における視覚重複障がい児教育への着手、2007年の高等部専攻科生活科設置など、常に時代のニーズと先見性をもって、歩んできたことからもうかがえます。歴史をつくってきた方々に思いを馳せ、明日への活力としていきたいと思えます。



「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。」

ヨハネによる福音書 第3章16節

《3月の聖句》 神さまは、私たちが救うために神さまの独り子イエスさまをこの世に遣わされました。

PTAバザー

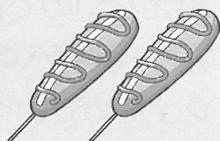
11月22日(土)

11月22日(土)、横浜訓盲学院PTAバザーを開催しました。当日はお天気に恵まれ、地域の皆様にも多くのご来場をいただきました。

普通部では、幼児児童生徒が心を込めて作った作品や製品が並び、「いらっしやいませ!」と元気な声が行き交いました。

理療科のクイックマッサージは今年度も大好評でした。保護者ブースでは、たこやき、フランクフルト、フルーツポンチなどが販売されました。講堂にはご寄付いただいた衣類や雑貨類がたくさん並びました。

ワタミさん、わくわくわーくさん、デイセンターつぼみさん、はな工房さん、ボランティアの皆様、事前準備からご尽力いただきました保護者の皆様、本当にありがとうございました。



収穫感謝礼拝

11月27日(木)

収穫感謝礼拝では、日頃お世話になっている皆様に感謝の気持ちを送ります。

各グループで、賛美歌に合わせて献金箱にお金を入れ、礼拝当日にグループの代表者が神様にお捧げしました。その集まった献金できれいなシクラメンを購入し、校医さん、近隣のお店や施設、ボランティアさん、スクールバスに携わっている皆様に送りました。

子どもたちから感謝の言葉と共にお渡しすると、皆様とても喜んでくださいました。これからも、どうぞよろしくお願ひいたします。



視覚障がい

目と知識

「アイフレイル」を知っていますか?

日常生活の中で、テレビだけではなくパソコンやスマートフォンを見る時間が長くなり、目がよく疲れる方が多いと思われます。ほかには「夕方になると見えにくい」「メガネをかけてもよく見えない」などの症状もあるかと思いますが、これらは実は、「アイフレイル」なのかもしれません。「アイフレイル」は、「加齢に伴う視機能の衰え」を意味する言葉で、疲れ目もその症状のひとつです。

簡単にできる疲れ目対策として、パソコンやスマートフォンを見て眩しさを感じた際に白黒反転機能を使うと、眩しさが軽減されて文字がハッキリと見えやすくなります。また、拡大鏡機能や音声読み上げ機能も便利な機能です。

なんとなく見えにくくなっただけでもストレスになります。もし気になるようであれば、眼科を受診して相談することもひとつの方法です。

(副学院長 古田伸哉)

クリスマス礼拝・祝会

12月20日(土)

12月20日(土)に、クリスマス礼拝・祝会を行いました。礼拝では、理療科のトーンチャイムによる伴奏で賛美歌を歌いました。

祝会では、幼小グループは、「ブレーメンじゃなくて、竹之丸の音楽隊」、小中グループは、「つながる音、ひびく心ークリスマス演奏会2025ー」、高/生グループは、「but now I see!」と題する演目を披露し、みんながクリスマスの光を輝かせ、明るく暖かいひと時となりました。



STT・フロアバレー交流会

1月17日(土)

1月17日(土)、神奈川県立平塚盲学校、横浜市立盲特別支援学校とのSTT(サウンドテーブルテニス)・フロアバレー交流会が横浜市立盲特別支援学校で開催されました。



本校からは普通部の生徒3名が参加しました。白熱した試合やチームでの協力したラリーができ、クラブ活動や朝練習に真剣に取り組んできた成果を発揮することができました。他校生徒と一緒に作戦を練ったり、話したり、笑顔溢れるよい交流となりました。



思う

ツボ

脈の状態は体調の現れ

東洋医学では患者さんの手首の脈に触れて身体の状態をみます。脈の種類は様々で、例えば、熱があるときは速い脈が現れます。これは「数脈(さくみゃく)」といい、身体が熱を持っている時の脈です。では、元気で健康な人はどのような脈の状態なのでしょうか？

東洋医学では、人間も自然の一部と考えます。人の脈も季節の状況に寄り添った脈となります。春は草木がはつらつと伸びるので、「弦脈(げんみゃく)」という弓の弦が張ったような脈が季節に応じた脈です。健康な人では春には「微弦(びげん)の脈」が診られます。夏は草木が溢れるので「洪脈(こうみゃく)」、秋は葉が色づき、草は枯れるので「毛脈(もうみゃく)」、冬は寒くなり万物が沈むので「石脈(せきみゃく)」が現れます。しかし、春なのに冬の「石脈」がみられる人は、冷えからくる坐骨神経痛や腰痛の症状を訴えることがあります。このように、それぞれの季節に応じた脈を知っておくことで、身体の調子を知ることができます。



第34回国家試験

2026年2月21日(土)に「あん摩マッサージ指圧師国家試験」、2月22日(日)に「はり師・きゅう師国家試験」がそれぞれ実施されました。本年度、本学院からは4名の3年生が受験しました。

3年間にわたり、国家試験の合格を目指して、一生懸命学習に励み、あん摩マッサージ指圧師や鍼灸師として必要な知識を身に付けてくることができました。その成果を惜しみなく出し切ることができたと思います。合格発表は2026年3月26日(木)です。教職員一同、受験した生徒の合格を祈っています。



寄付金贈呈式

6月3日(火)、ブルガリア大使館公邸で寄付金の贈呈式が行われ、ILBS国際福祉協会様より寄付金をいただきました。いただきました寄付金により「卓球台」の購入ができますことを感謝いたします。

12月23日(火)、愛恵福祉支援財団様より寄付金をいただき、「デジタル身長体重計」の購入ができますことを感謝いたします。

ウェスレー財団様より2025年度の寄付金をいただき、「日本人男性骨格交連複製モデル吊式」を購入できますことを感謝いたします。

あたたかいご支援・ご配慮を頂きまして、誠にありがとうございます。

院外臨床実習のご案内

料金：無料

院外臨床実習とは、学院臨床室以外の場所で生徒たちがおこなう実習です。日頃の感謝の気持ちを込めて、毎年、学院周辺の町内会館にてマッサージを行なっています。是非ご利用下さい。

- 〔2026年〕3月10日(火) 豆口台町内会館
- 11日(水) 柏葉町内会館
- 12日(木) 麦田地域ケアプラザ
- 13日(金) 柏葉公園内集会所
(西竹之丸)

◆お問い合わせ先/各町内会まで◆

※インフルエンザ等の状況により変更される場合があります。

《今後の行事予定》

- 3月** 19日(木) 2025年度卒業式・修了式
23日(月)~春休み
- 4月** 1日(水) 理療科新入生オリエンテーション
8日(水) 2026年度入学式・始業式

《2026年度生徒募集》

- ◎募集定員(各部若干名)
 - 【普通部】 幼稚部・小学部・中学部
高等部普通科・専攻科生活科
 - 【理療科】 高等部専攻科保健理療科
高等部専攻科理療科
- ◎募集期間《二次募集》
普通部、理療科ともに2月27日(金)まで随時
- ◎お問い合わせ 代表 TEL.045-641-2626

臨床実習のご案内

〔2026年3月1日~16日の期間について〕

当学院の理療科では、授業の一環として、あんま・マッサージ・指圧の臨床を行っています。是非ご利用下さい。



料金 一律 1000円

時間 11:00~(50分)

◆ご予約はお電話で! 当日の朝 8:50~9:15
電話 **090-9009-5882**

◆お問い合わせは理療科まで
電話 **045-662-1833**

★あんま・マッサージ・指圧★ [月・水・金曜日]

※ 1. インフルエンザ等の状況により変更となる場合があります。 2. 2026年4月以降の実施日や時間等につきましては、お問合せ下さい。

●ご協力のお願い●

(2026年度 賛助会員)

子どもの視覚障がい教育にご理解いただき、ご支援下さる団体・個人の方々の賛助会員を募らせていただいております。よろしく願い申し上げます。

- 【年会費】 法人(1口)10,000円/個人(1口)1,000円(口数は問いません)
- 【お支払い方法】 ・郵便振替[加入者名]学校法人横浜訓盲学院(口座番号00200-5-40861)
・現金
- 【その他】 会費以外に寄附金も有難くお受けいたします。
寄付金控除については「所得控除制度」と「税額控除制度」のいずれかの制度をご利用いただけます。
- 【お問合せ先】 横浜訓盲学院 事務部 TEL.045-641-2626